

平成 22 年 8 月 20 日

各位

ヒロセ株式会社

ヒロセハイパーウォールの販売開始について

このたびヒロセ株式会社は、新商品「ヒロセハイパーウォール（合金メッシュ擁壁）」の販売を開始いたしましたのでご連絡いたします。

1. 新商品販売の背景

近年大地震や洪水をはじめとする自然災害が多く発生しています。土木構造物もその被害を受け、時には人命が奪われ、甚大な災害となってわれわれを襲っております。

当社はテールアルメ（帯鋼補強土）工法のパイオニアとして、補強土擁壁の販売を行っております。本工法は阪神淡路大震災をはじめ多くの大地震・自然災害に耐え、その耐震性・耐久性の高さを証明してきました。

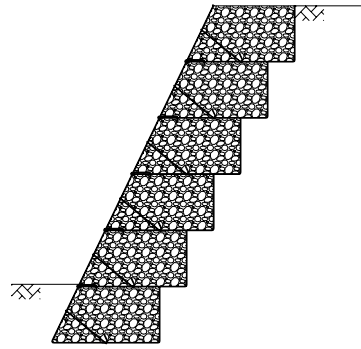
テールアルメ工法は、道路・護岸などの盛土区間に多く使用されます。当社は「盛土区間」だけでなく「切土区間」においても耐震性の高い構造物を提供したいと考え、2004年から鉄筋コンクリート一体型空積構造のもたれ式擁壁であるNSSブロックの販売を開始し、多くの方々に評価いただき、数多くの実績を残しております。また当社は継続して新しい商品を開発・導入することで、さらに多くの信頼ある構造物を提供して参りたいと考えております。

そこで今回、共和ハーモテック株式会社（大阪府大阪市淀川区）が開発した高耐久の合金メッシュ擁壁をヒロセが国内全域で販売提携し、「ヒロセハイパーウォール」としてライフサイクルコストの低減と環境調和の提案を幅広く展開してまいります。

2. ヒロセハイパーウォールとは

ヒロセハイパーウォールとは、「ハイパープレメッシュ」を用いた高耐久メッシュ（かご枠形式）の擁壁で、道路擁壁・河川護岸などに使用頂け、以下の特徴を有しています。

- 6mmが主体であった従来のかご枠に比べ、9mm線に変更することで剛性を向上させ、施工時の変形を防止すると同時に高い耐久性を実現しライフサイクルコストを低減します。
- コンクリート製品の大型ブロックと比べ、CO₂排出量を抑えることができると同時に比較的軟弱な地盤でも構築が可能です。
- 中詰材に玉石等を用いるため、通水性が非常によく、湧水による変状の懸念もなく、地産地消に貢献します。また河川においては魚の生息空間を提供します。



3.ハイパープレメッシュとは

ハイパープレメッシュとは、連続式溶融めっき方式により製造された先めっき鉄線を使用した金網で、以下の特徴を持ち、従来の金網に比べ高い耐久性を有しています。

- 9mm線を配することで、高強度のかご枠を形成できます。
- 線材にはすべて溶融亜鉛-10%アルミニウム合金めっきが施され、高い耐久性を有しています。
- 先めっき溶接金網を使用するため、金網強度、めっき特性及び寸法精度が安定します。

以上